

洞爺湖町議会令和3年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
2番 大久保 富士子	1 入江、高砂貝塚公園及び入江・高砂貝塚館周辺のインフラ整備について 2 女性の視点を取り入れた防災に関する取組みについて	(1)現段階における入江、高砂貝塚公園及び入江・高砂貝塚館周辺のインフラ整備の進捗状況等について伺います。 ①現在行っている整備と今後考えている取組みは。 ②主要・幹線道路から施設へと誘導する案内板が少なく分かりにくいとの指摘があります。整備に取り組む考えは。 ③町民へ更に関心を持ってもらうためには、施設を利用してもらうことが重要なことと思うが。その取組みは。 (1)国は、令和2年5月「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画からの防災・復興ガイドライン」を作成しました。洞爺湖町としての取組みについて伺います。 ①企画防災課危機管理室における女性職員は。 ②防災研修・訓練への積極的な女性参加を進める取組みを行っていませんか。 ③町の地域防災計画においては、男女共同参画を意識したものとなっていますか。また、備蓄物資の整備計画には女性職員の意見を取り入れたものとなっていますか。 ④災害時における物資供給において、協定を締結している事業所は。 ⑤町内の自主防災組織における女性の参画と理解の促進は。	①
8番 今野 幸子	1 コロナ感染症対策について	(1)当町の感染者についてどこまで把握できているのか。 (2)室蘭管内での医療や保健所の逼迫状況は。 (3)個人情報の保護に配慮しつつ、感染者への支援や感染拡大防止はどのように行われているのか。 (4)保健所から町に対して感染者の個人名や住所照会がされた場合、どのような支援がされるのか。 (5)妊産婦が感染した場合、町はどのような支援を行うのか。管内での妊産婦の感染者に対応できる病床は確保されているのか。 (6)妊婦の体調の変化による相談体制はあるのか。	②

洞爺湖町議会令和3年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>8番 今野幸子</p>	<p>2 入江・高砂貝塚公園、高砂貝塚館の世界遺産に恥じないバリアフリー対策と運営について</p>	<p>(1)貝塚館正面入り口のスロープ、館内に車いすの常備は。 (2)点字ブロックの設置延長、音声式案内など、視覚（弱視）障がい者への対応は。 (3)オストメイト対応のトイレ設置は。 ①汚物処理、温水シャワー、鏡や棚の設置は。 ②女子トイレにナプキンの常備は。 (4)学芸員、ボランティアの対応 ①予約なしでも個人や障がいのある人にも説明ができる対応を。 ②入江高砂両貝塚公園での案内ガイドの対応は。 ③ボランティアが活躍しやすい体制と対応は。 (5)施設の管理と職員の勤務時間 ①公園のトイレや施設内の清掃、消毒は。 ②勤務時間と施設の開館時間は。 ③川をつくり蛍の生息地とする計画は。</p>	
<p>5番 立野広志</p>	<p>1 町営住宅等の環境保全と設置者責任について</p> <p>2 生活保護の扶養照会に関する厚生労働省通知の運用徹底について</p>	<p>(1)町営住宅入居者の最近の年齢構成や家族構成の推移を把握しているか。 (2)良好な居住環境の維持のための設置者の役割及び責任は何か。その根拠は。 (3)町営住宅条例の（入居者の費用負担義務）第22条（3）共同施設又はエレベーター、給水施設及び汚水処理施設の使用又は維持、運営に要する費用とあるが、「共同施設」とは具体的にどのようなものを指すのか。 (4)町営住宅敷地内の環境保全、冬季間の除排雪などにおける入居者の義務や費用負担の根拠は何か。 (1)コロナ禍の下、いろいろな支援策を活用してもなお困窮に陥る人が出ることが避け難い状況がある。厚生労働省は、国会での追及を受けて、本年3月30日付で「『生活保護問答集について』の一部改正について」と題する事務連絡（以下「新問答」といいます。）を発出しました（本年4月1日施行）。これまで、扶養照会を行うにあたって要保護者の意向は無視されてきたが、「扶養照会をしてほしくない」という要保護者の意向を尊重すべき旨の規定が追加された。実際の窓口での対応ではどのように生かされているのか。</p>	<p>③</p>

洞爺湖町議会令和3年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
5番 立野広志	3 コロナの感染爆発から町民の命と暮らしを守る対策の強化について	<p>(2)(厚労省 HP)「生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、ためらわずにご相談ください。」とあるが、町行政としても生活保護の申請について、憲法25条にもとづく町民への丁寧な周知を行う考えはないか。</p> <p>(1)感染拡大は、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の対象地域が広がるもとの、西胆振地域でも広がりを見せている。感染の広がりや感染者の状況、医療機関の病床や人員などの現状、保健所機能や対応状況、さらに、「自宅療養」を余儀なくされている感染者の状況など、行政が率先して情報把握し発信することで、町民と危機感を共有することが必要ではないか。</p> <p>(2)住民の命と暮らしを守るためには、次の諸点について真剣な対応を求めたい。</p> <p>①大規模な PCR 検査と同時に、安全・迅速なワクチン接種。</p> <p>②打ち切られた持続化給付金や家賃支援給付金の再給付など、困っているすべての人、業種に迅速な補償。</p> <p>③医療機関への減収補填、支援強化で医療崩壊させない。</p>	
10番 石川邦子	<p>1 地域特性(世界遺産)を活かしたまちづくり</p> <p>2 洞爺湖町合葬墓(合同墓)の検討状況について</p> <p>3 男女共同参画計画策定の進捗状況等について</p>	<p>(1)令和3年7月、入江・高砂貝塚を含む「北海道・北東北縄文遺跡群」が世界遺産に決定しました。将来の世代に引き継いでいくため、文化資源の保護と活用が求められます。管理体制の整備、地域住民の理解の向上、持続可能な活動に向け地域ボランティア団体と連携した遺産保護・情報発信・来訪者への対応等について伺います。</p> <p>(1)少子化や核家族化により、お墓の維持管理が困難な状況が増えており、将来に対する不安から、町民の選択肢の一つとして、自治体による「永代に供養できる合同墓の建立」が望まれています。現在の検討状況について伺います。</p> <p>(1)今年度策定予定の計画の進捗状況などについて伺います。</p> <p>①公的審議会、各種行政委員会、防災等への女性参画の進め方、行政における女性管理職の登用、数値目標の設定等は。</p>	④

洞爺湖町議会令和3年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
10番 石川 邦子		<p>②男女平等・ジェンダー・多様性の推進等のテーマを盛り込んだ学習の場の計画についての考えは。</p> <p>(2)男女共同参画社会に向けた施策を積極的に事業化し推進すること及び計画を実効性のあるものにするために、条例の制定が必要です。町の考えを伺います。</p>	
6番 五十嵐 篤 雄	<p>1 コロナ感染症予防のワクチン接種について</p> <p>2 コロナ感染症の現況等について</p> <p>3 事業者への支援対策について</p>	<p>(1)ワクチン接種が比較的順調に進められていると理解しているが、接種を希望した町民の接種状況は。</p> <p>(2)新たに接種を希望する人にどう対応するのか。また、町全体の感染防止の観点から未接種者に協力をお願いする考えはあるか。</p> <p>(3)接種者に予防接種済証を発行したが、今後活用する具体的なことを考えているか。</p> <p>(1)当地域での感染に関しては、室蘭保健所が指示をする事になると思うが、入院先、ベット数、使用率など情報が提供されてもいいと思うが。</p> <p>(2)法定感染症とされているが、検査、入院など費用についてすべて国費と考えていいのか。</p> <p>(3)町による特定検診が延期されているが、早期発見が検診目的の一つと考えると、これ以上の延期は避けなければならないと思うが、見通しは。</p> <p>(1)町内の事業者は長期に影響を受けているが、現状をどのような調査をして把握しているか。また、その状況はどうか。</p> <p>(2)財源の問題もあるが、現在実施中の支援策の効果等考慮した上で継続は。調査に基づいた新たな支援策の考えはないのか。</p>	⑤
1番 越前谷 邦 夫	1 新型コロナウイルス感染症防止強化策について	(1)新型コロナウイルス流行の第5波が止まらず、北海道も3度目の緊急事態宣言が発令された。感染力が非常に強く、ワクチン接種者でも感染することがあるデルタ株が主流になっている。局面が大きく変化し、従来の感染対策やワクチン接種だけでは不十分である。第5波縮小の兆しはあるが対策を緩めるべきではない。感染症防止意識が気薄になっている昨今、危機に対処するには感染経路を断ち、感染源を減らし、	⑥

洞爺湖町議会令和3年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
1 番 越前谷 邦 夫	2 災害対策基本法の改正による災害防止対策について	<p>ワクチン接種を進める3つの基本をバランスよく進めることが重要である。情報共有し合って、住民の健康、生命を守るために行政、議会が両輪となって感染症防止策を直いっそう強化することが極めて重要である。その策を問う。</p> <p>(1)災害時に支援の必要な障害者や高齢者ら一人一人のために作成される「個別避難計画」災害対策基本法の改正により本年5月から計画の作成は各自治体の努力義務となった。</p> <p>地域、行政、福祉の関係者が連携した支援の仕組みづくり、誰一人取り残さない防災を掲げ前進が重要である。洞爺湖町は防災、減災に万全を期していると思うが、とりわけ、土砂災害対策、津波被害対策の策を問う。</p>	